

スリムタイプ哺乳びん 取扱説明書

【対象商品】
スリムタイプ耐熱ガラス製哺乳びん 240ml
スリムタイプ耐熱ガラス製哺乳びん 150ml
スリムタイプPPSU製哺乳びん 240ml
スリムタイプPPSU製哺乳びん 150ml

この説明書はご使用になる前に、必ずお読みください。また、ご使用が終わるまでお手元に保管ください。

パーツの名称

各パーツを外して、洗浄・消毒してください。乳首はキャップの下からセットしてください。



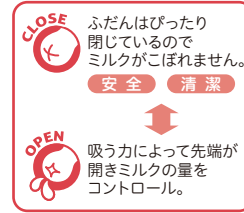
※広口タイプの乳首はご使用できません。



〒540-0012 大阪市中央区谷町2丁目3番12号
お客様相談室 ☎06-6942-4416
(土・日・祝日を除く 9:30~17:00)
チュチュホームページ <http://chuchubaby.jp>

秘密はスーパークロスカット

「スーパークロスカット」は、十字に切れ込みの入った乳首です。赤ちゃんがおっぱいを飲むように乳首をつぶして吸うことで欲しい分だけミルクが出る仕組みです。



チュチュの乳首について

〈スーパークロスカット・空気弁のお手入れ〉

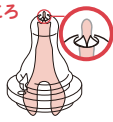
チュチュの乳首は、S/M/Lという穴が開いた乳首ではありません。赤ちゃんが、おっぱいを飲むように乳首をつぶして吸うことによって、吸った量だけミルクが出る仕組みです。赤ちゃんが吸った際に、空気弁からスムーズに空気が入って来てミルクが飲めます。乳首のスーパークロスカットと空気弁は粘着（ひっつき）を起こすことがあります。キャップにセットする直前に、ニップルケアで2箇所のお手入れを行ってください。粘着したままだと空気が入らず赤ちゃんがミルクを飲めません。ニップルケアを使用してもミルクの出が悪いときは裏から見ていただき半球状のブツリしたところを清潔な指でやさしく両側に広げていただくと、よりスムーズに空気が入ります。赤ちゃんが順調に飲めているかは、哺乳びんに空気が入って泡が立っているかで、お確かめください。

この説明書はご使用になる前に、必ずお読みください。また、ご使用が終わるまでお手元に保管ください。

乳首のお手入れ方法

赤ちゃんが吸うところ

スーパークロスカット部分は乳首の内側から外に向けて。



空気弁

乳首の台座部分にあり、上から下に向けて。



取り扱い上の注意

- 用途以外には使用しないこと。
- 子供・赤ちゃんに哺乳びんを持たせず、授乳は必ず保護者が行うこと。(思わぬ事故につながる可能性があります)
- 破損・ヒビ・欠け等がある場合は、使用しないこと、また使用前に確認すること。
- 高い所から落としたり、急激な衝撃や温度変化を与えたりすると破損するおそれがあるので注意すること。
- 子供の手の届くところで保管しないこと。
- 火のそばや直射日光を避け、清潔で高温にならない場所に保管すること。(特にPPSU製哺乳びんの場合は軟化・変化のおそれがあるので注意すること)
- 直接電子レンジで加熱はしないこと。

耐熱ガラス製哺乳びんについて

- 耐熱ガラス製哺乳びんは割れ物です。
- 落下や急激な衝撃、温度変化を与えると破損します。
- 割れる際に、破片が飛んだり底が抜けたり、鋭利な破片でケガを負う場合があります。
- 使用前には毎回、破損・ヒビ・欠け等がないか(特にネジ部分)を点検し、あれば絶対に使用しないでください。
- お子様のそばで調乳したり、お子様自身に哺乳びんを持たせないでください。
- 底のひっかきキズのような跡は「シャーマーク」といわれる製造上できるものです。安心してご使用ください。

ポリフェニルサルホン(PPSU)製哺乳びんについて

- PPSU製哺乳びんは、人体に影響を及ぼすとされる約70品目の内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン)を含まない素材です。新生児にも安心してご使用いただけます。
- びん自体の薄茶色はPPSU素材の色です。
- 底のくぼみは製造上できるものです。安心してご使用ください。

シリコン製乳首について

- ご使用前に必ずニップルケアで2箇所のお手入れを行ってください。
- シリコンゴムは、周辺の色素や水分、ニオイを吸着させる性質があります。保管場所にご注意ください。

乳首の交換時期

- チュチュの乳首は、月齢によるサイズ変更は不要ですが、使用により劣化しますので定期的に交換してください。
- 交換の目安は、2~3個の乳首を交互に使用し約1ヶ月です。この場合、すべて一度に交換せず、1個ずつ日をずらして交換することをおすすめします。(1個の乳首を連続使用すると、それになじんで他の乳首をイヤがる場合があります)また、亀裂等が見つかった場合は、期間に関係なく交換してください。
- 哺乳びんには専用の乳首をご使用ください。

その他の注意

- 哺乳びんと乳首は同じメーカーのものをご使用ください。ミルク漏れや割れの原因となります。
- 歯の生えた赤ちゃんが乳首を使用すると裂けることがありますので、ご注意ください。

洗浄・消毒について

- 初回使用の際、および使用後は都度、洗浄・消毒を行ってください。
- 高温になる消毒器や食洗機・乾燥機・紫外線消毒器は使用しないでください。
- 乳首には、保護のために食品添加物の安全なオイル状の保護剤を塗布しています。必ず、洗浄・消毒の上ご使用ください。
- 洗浄・消毒時に裏返った乳首は、元に戻してからセットしてください。

〈洗浄の際の注意〉

- ミルク成分は時間が経過すると落ちにくくなりますので、授乳後すぐに哺乳びん用洗剤等を用いて、ていねいに洗浄してください。
- 洗浄の際には、それぞれの哺乳びんに適した素材のブラシを用いて洗浄してください。
 - ・ガラス製哺乳びん・・・ナイロン(スポンジ)製ブラシ
 - ・PPSU製哺乳びん・・・スポンジ製ブラシ(材質がやわらかいもの)
 - ・乳首・・・乳首ブラシ等(クロスカット部と空気弁は軽くもみ洗いしてください)

〈消毒の際の注意〉

- 煮沸消毒はヤケドに注意してください。特にお子様がそばにいるときはご注意ください。
- 薬液消毒は、取扱方法に従ってください。シリコンゴム製品は長時間浸けたままにすると乳白色に変色しますので、ご注意ください。浸水時間は1時間が目安です。
- 電子レンジ消毒の場合は、必ず電子レンジ消毒専用の容器等を用い、取扱方法に従ってください。そのまま直接レンジ加熱しないでください。
- 消毒前に必ず洗浄をしてミルクの汚れや洗剤液を落としてください。

消毒の方法と注意

※洗浄した哺乳びんの各パーツを外したままで行ってください。

〈煮沸消毒〉

哺乳びんパーツがすべて沈む量の、たっぷりの熱湯に入れ、3~5分煮沸してください。その際に鍋等のふちにつくと変形の原因になりますのでご注意ください。



〈薬液消毒〉

「チュチュつけるだけ」など哺乳用品用の薬液や薬剤を用いて各メーカーの取扱方法に従ってください。

〈電子レンジ消毒〉

必ず電子レンジ消毒専用の容器等を用いて取扱方法に従ってください。そのまま直接電子レンジ加熱しないでください。

〈消毒方法〉

部品名	煮沸	薬液	電子レンジ
びん	○	○	○
乳首	○	○	○
フード・キャップ・ニップルケア	○	○	○

調乳の方法と注意

- 調乳の方法等は、各粉ミルクの取扱表示に従ってください。
- 熱湯や熱くなった哺乳びん等によるヤケドに注意してください。特にお子様のそばでの調乳は、危険を伴いますのでお避けください。
- 調乳には、一度沸騰させた後、70℃以上に調整したお湯を使用します。沸騰直後の熱湯を急遽に注ぐのはヤケドや破損の危険がありますのでお避けください。
- ニップルケアでお手入れをした乳首とキャップを哺乳びんにセットし、決して縦に振らずに底面を円を描くようにしてかきまぜてください。縦に振るとミルクが内圧の関係で噴出するおそれがありますので、キャップをゆるめる等空気を逃がす処置を行えば安全です。またフードは取り付けた方がより安全です。
- 調乳後は流水にあてる等の方法で、適温に調整してください。授乳に適した温度は人肌程度(約40℃)が目安です。その際、亀裂や破損を防ぐため冷水で一気に冷ますのはお避けください。流水にあてた直後は、哺乳びんの表面だけが冷めている場合があります。円を描くようにかき混ぜてから、哺乳びんをお肌にあてて適温かをご確認ください。
- 哺乳びんに表示してある目盛りは調乳のための目安です。(精度を必要とする場合は計量カップや計量スプーンを用いてください)

調乳温度の測り方

〈肌に当てる場合〉

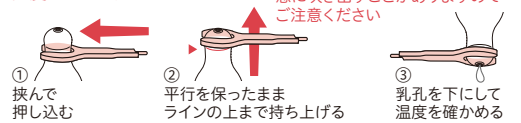
調乳の際の温度確認は、哺乳びんの底で円を描くように回してから、側面をお肌に当てて適温かを確認してください。

〈ニップルケアを使う場合〉

ニップルケアを使って乳首の先を挟むと、スーパークロスカットが開きミルクが出てきますので、お肌に当てて適温かを確認してください。(図は一例です)ご都合の良い方法でニップルケアの使い方をこちらで詳しくご覧いただけます。

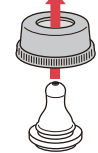


ニップルケアを使用した温度の確かめ方

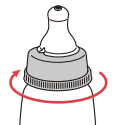


乳首と哺乳びんのセット方法

- ①キャップの下から乳首を通します。
- ②乳首のふくらみがきれいに出るよう、上下に数回引っ張ってセットします。(しっかりと数回くり返す)



- ③斜めにはまらないように注意しながら締め、哺乳びんに確実にセットします。



Instructions for use

●Please check the crack before first use. Do not use the feeding bottle which has a crack. ●Be careful about burning yourself with leaking milk, when you shake the feeding bottle. Do not shake too hard, the milk might leak from the top or side of the teat. ●Please take care of the air valve and super-cross-cut with teat-care. (Baby cannot feed the milk, when the air valve and super-cross-cut is stuck together.) ●Please take care of the top and air valve at every time before setting the cup for drinking milk. ●Please make sure whether the super-cross-cut and air valve are open.

使用前请务必阅读

●每次使用以前请确认一下瓶身有没有瑕疵,如果有瑕疵的情况下,绝对不能使用。●如果热水是高温的情况下,使劲的摇动奶瓶,瓶内的空气被挤压,奶孔,奶嘴和奶瓶圈的连接处会冒出奶,造成烫伤请停止这样做。●若奶嘴的十字孔和空气阀粘着,请使用黄色叉子清理奶嘴若奶嘴粘着会造成宝宝喂奶困难。●为了让宝宝容易喝奶,请在每次喂奶前组装奶嘴前请用黄色叉子护理奶孔和空气阀。●用黄色叉子轻轻地旋转扩张,请确认奶孔,空气阀是张开的还是堵塞。